

熊介通信 臨時号

2022年6月発行 発行責任者：一般社団法人熊本県介護福祉士会 会長石本淳也
862-0950熊本市中央区水前寺6丁目41-5千代田レジデンス県庁東504

KCW

2022年度 一般社団法人熊本県介護福祉士会 定時総会 6/18 KKRホテル熊本にて



会場とオンラインによるハイブリッド開催となりました。議長は県央支部の永田正会員が選出されました。

第一号議案から第四号議案までが審議され、監事による監査報告が行われました。委任状・書面議決を含めて548名の正会員参加を得て無事閉会となりました。

本年2月に、会長が熊本県社会福祉功労者表彰を授与されたことの紹介が、今村副会長より行われました。

「2022年度一般社団法人熊本県介護福祉士会定時総会」がKKRホテル熊本にて開催されました。会場参加、WEB参加、委任状及び書面議決による意思表示を含め、正会員数の半数を上回る548名の参加を得ました。石本会長より開会の挨拶を行い、来賓のご挨拶として、熊本県健康福祉部長寿社会局高齢者支援課の下村課長様からの祝辞文が披露されました。（添付参照）

その後議長選出が行われ、県央支部所属の永田正会員が選任されました。まず第1号議案2021年度事業報告、第2号議案同決算報告及び監査報告が行われました。続いて第3号議案2022年度事業計画、第4号同予算計画について説明が行われました。いずれの議案も出席正会員の半数以上の賛成多数で議決されました。

続いて報告事項として、熊本県ホームヘルパー協議会との事務局機能一元化（2023年度より）について具体的検討を進める趣旨説明が石本会長及び熊本県ホームヘルパー協議会の田尻会長（オンライン参加）から行われました。また2023年度より日本介護福祉士会の年会費が2500円引き上げになる説明（2022年度日本介護福祉士会臨時総会にて決定）が石本会長と日本介護福祉士会今村副会長（本会副会長）から行われました。あわせて、現段階で熊本県分の会費値上げは考えない旨も伝えられました。また最後に、本年2月に熊本県社会福祉功労者表彰を石本会長が授与したことの紹介が今村副会長より行われました。

報告事項も含め、参加者からの特段の質問は無く、定刻通り閉会いたしました。

長引くコロナ禍であっても、前進し続ける職能団体として、様々な工夫を行い今年度も取り組んでまいります。特に、県北・県央・県南・天草・球磨人吉（立ち上げ予定）支部の活動を例年以上に活発化させ、身近な地域で顔の見える関係構築に力を入れてまいります。会員の皆様におかれては、是非とも積極的に活動に参加いただきますようお願い申し上げます。「元気がイイね！」といわれる介護福祉士会を共に目指しましょう！！

令和4年度一般社団法人熊本県介護福祉士会定時総会が開催されますことをお慶び申し上げます。

皆様方、お一人お一人の日々の働きが、介護の現場を力強く支えていただいております。まずは、このことについて、深く感謝申し上げます。

また、現在も2年以上にわたり新型コロナウイルス感染症対策に緊張感を持って粘り強く取り組んでおられ、サービス提供継続のため、万全の感染防止対策を取っていただいていることに、非常に頭の下がる思いであります。本当にありがとうございます。

さて、県では、昨年3月に策定した第8期「長寿・安心・くまもとプラン」において、「介護人材の確保と介護サービスの質の向上」に重点的に取り組むこととしています。特に、介護ロボットやICTの導入による介護現場の負担軽減や、介護職員自らが誇りを持って介護の魅力を伝える「KAiGO PRiDE」プロジェクトなどの取組みを進めているところです。

コロナ禍という厳しい状況下ではありますが、社会に必要不可欠な介護職の重要性が改めてクローズアップされる契機ともなっています。県としても、歩みをとめることなく、あらゆる機会を捉えて、介護現場や介護職に対する一層の理解促進に努めて参ります。

また、介護サービスの確保に向け、感染症対策や災害対策につきましても、引き続き力を入れて参りますので、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

最後に、貴会の益々の御発展と、会員の皆様の御健勝を祈念しまして、挨拶とさせていただきます。

熊本県健康福祉部長寿社会局
高齢者支援課長 下村 正宣